

(写真1)。葉長60～100cm、葉身は心臟形で、葉柄長30～50cm、葉柄の太さ3cm程度となる。根は放射状に伸長し、肥大する。食用とする葉柄は緑色を基本色とし、葉柄下部は暗赤色を示す(写真2)。葉柄全体に赤色を呈する赤色系品種には‘Canada Red’、‘Valentin’、‘Strawberry’、‘MacDonald’などがあり、赤色発現の少ない緑色系品種には‘Victoria’などがある。‘Victoria’は生育が旺盛で、根の肥大がよいため軟化栽培に適し、軟化栽培では鮮やかな赤色を発現する。

神奈川県における‘Myatt’s Victoria’の年間の生育状況は次のとおりである。早春(3月上旬頃)にほう芽し、初夏(5～6月)に生育が最も旺盛となる。梅雨明け以降の夏には高温のため生育は衰える。秋(10月)になって草勢がやや持ち直すが、生長は緩慢であり、冬に向かい生長は停止し、12月中旬頃に地上部は枯れる。

3. 栽培方法

ルバーブの栽培法は2つに分けられる。1つは露地で生育旺盛な季節に収穫する露地栽培であり、他は冬に根株を掘り取り、軟化施設ないで生育させる軟化栽培である。

露地栽培の収穫法は、30～50cmに伸長した葉を基部より手で順次かきとる。一度に採葉しすぎないように注意する。その後、2週間くらいたつと新芽が伸長してくるので、次々に収穫できる。収穫期は5～6月で、6月下旬が最も収量が上がる。葉が老化すると、葉柄に‘す’が入るので収穫しない。一株当たり2kgくらいで10a当たり3t程